

吉田
みのるの

MY 通信

Minoru Yoshida



市議会議員1期目の半分（2年）が過ぎ、改めて皆さんとお会いし、様々な話を伺えればと思った矢先の、新型コロナウイルス感染症の拡大。誰も経験したことのない状況で、議員活動をはじめ様々な活動が自粛されており、思うように対応できておりませんでした。今後は感染予防策を取りながら、少しずつ皆さんの話を伺えればと考えています。

「子どもたちが誇れる春日部に」を実現するために、

全力で挑戦していきます！！

（R1.9月議会からR2.6月議会までを一部抜粋し掲載しています）

◇総務委委員会 副委員長

◆議会改革検討特別委員会 委員

◇江戸川水防事務組合議会 議員

◆前進かすかべ。未来の会 事務局長

◇春日部市「庄和大風文化保存会」 顧問

◆西宝珠花区 理事

R1年9月議会「財政について」12月議会「春日部市の行財政改革について」

単位（千円）	H20	H28	H29	H30
春日部市の予算	58,516,518	71,523,945	72,098,635	73,097,735
経常収支比率	94.1%	92.3%	92.9%	93.4%
財政力指数	0.822	0.774	0.775	0.775
財政調整基金	851,706	4,012,719	4,207,222	4,207,364
臨時財政対策債現在高	17,435,032	35,326,176	36,376,027	
実質債務残高	76,953,648	96,621,762	91,262,581	101,044,281

経常収支比率：財政にどれくらい余裕があるか。70～80%：適正、90～100%：余裕がない、100%以上：硬直化

財政力指数：市町村の財政力を示す数値。1.0未満だと地方交付税がもらえる。

財政調整基金：春日部市に不測の事態があった時（災害やコロナ対策など）に、自由に使える貯金。

臨時財政対策債現在高：将来的に国へ返済する借金の総額。

実質債務残高：春日部市が借り入れている借金の総額。

○過去と比較して、改善されている数値もあれば悪くなっている数値もある。今後10年の間に大型事業（春日部駅の橋上化・新庁舎建設・北春日部の開発など）で約260億円の予算が必要になる。様々な課題を踏まえたうえで、R2年の予算を組むにあたり、どのように考えているのか。

→R2年は、大規模事業が動き出すチャンスを生かし、一層の賑わいと活気を生み出し、未来への活力として繋げていくことが不可欠である。そのために、持続可能な財政運営に留意しながら、春日部市の魅力を発信できる施策を積極的に展開していくことが重要だと考える。（市長答弁）

12月議会「宝珠花・富多領小学校跡地のその後」

○宝珠花・富多両小学校跡地の今後の取り組み方について

→宝珠花小学校跡地：地域の皆さんが集まれる公民館のような場所として計画。

暫定的に施設の一部を使用できるように早期実現を目指す。

富多小学校跡地：公募結果は条件を満たしておらず、地域住民も参加している会議で不採用となった。条件を再検討して、地域にとって有意義な民間活用ができるように、募集を行っていく。



R2年3月議会・9月議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、

全議員が一般質問を行いませんでした。

一般会計の補正予算に関して、賛成討論を行いました。

タイトルから詳細は読み取れませんが、この補正予算で一番の問題は、

「時間外勤務手当。いわゆる残業代の未払い分約7,900万円について」が

争点となりました。(以下は、賛成討論の要旨です)

時間外勤務手当の未払い分について数点指摘させていただきます。

残業代未払い分と遅延損害金も併せて約7,900万円は、被害にあった職員さんのためにも早急に支払わなければならないと考えております。しかし、最終報告や質疑を検証したところ、春日部市の姿勢についていくつか不安な点が見受けられます。

1点目、報告書についてですが「2年分」の残業代未払いと遅延損害金に対する根拠が示されている報告書であり、根本的な原因である「長年の慣習や、曖昧なまま知らず知らずのうちにいつのまにか始まっていた」という問題の原因について記載されたものではないということ。

2点目、調査委員については未払いが発生した対象の課に関わった事のある部長級の職員を多数選任しています。かつての上司が聞き取りをすることで、全ての職員が忖度することなく、当時の内容を正確に話すことができるのか？そのような状況であれば、聞き取りについても、より公平性・公正性を高めるために第三者委員の存在が必要であったことは、当然のことだと感じますが、春日部市は聞き取りについては副市長・部長から構成される調査会の委員のみで十分だという考え。

3点目に、種村副市長が「平成27年以前も(未払いが)あったことも推察できるけれども、「誰が」「いつから」「どうして」ということについて判明することは大変困難。従って、ほぼその原因と実態が調査できた今回の最終報告書をもって、これ以上の調査については行わない」と答弁していますが、「ほぼ」といった結果で、本当に職員のための再発防止策を作り上げることができるのか。徹底した調査が行わなければ、徹底した再発防止策を作り上げることはあり得ないと考えます。

4つ目に、調査の対象者について。この報告書は未払いのあった24課の主査以上の職員の皆さんに確認したものであります。最終報告には「本事案が全庁的な規模の問題であったことを踏まえ」と記載してあります。今回の事案を真摯に受け止め再発防止策に取り組むのであれば、職員全員に対する聞き取り調査が必要であると考えます。

以上を踏まえて、未来に向けた新しい市役所を作っていくためにも、これまでの慣習や旧弊を払拭するべく、そして主体的に再発防止に向けた議論をし、職員の誰もが輝くことが出来る職場を構築するための取り組みを行っていただくことを求めて、本案には賛成の意を表し、賛成討論と致します。

今後の活動について

地域でのお困りの事や、誰に相談したらいいかわからない事など・・・、なんでもご連絡ください。

皆さんが困っている事ですが、実は市に相談すれば解決できる内容もあるかもしれません。

「子どもたちが誇れる春日部に」を実現するために、全力で挑戦していきます！！